

… 主 な 議 案 …

議案第40号

令和8年度竹原市一般会計補正予算（第1号）

●園芸用施設・設備導入等支援補助金

- ・内 容／物価高騰等の環境変化に影響されにくく、収益力の高い農業経営の実現に向けて、農業者の経営発展の加速化を図るため、農業者が行う園芸用の施設・設備の導入・改修等に必要となる費用の一部を支援する。
- ・質 疑／対象事業者3者に対し、どのような生産性や収益性の向上を見込んでいるのか。
- ・答 弁／今回の助成は、物価や燃料費の高騰による経費負担を抑えることを主な目的としている。具体的には、既存ビニールハウスの自動巻き上げ設備の整備や燃費効率の良いヒートポンプ式エアコンへの更新などに対して助成を行うものである。なお、本事業には補助上限が設けられており、事業費の半分は事業者自身が負担する制度設計となっている。

●かき養殖生産持続支援金事業

- ・内 容／養殖かきの大量へい死の影響を受けている漁業者の来年度以降の水揚げ量確保のため、かきの再生産に向けた作業に要する経費等へ支援する。
- ・質 疑／本事業により、どの程度の生産回復を見込んでいるのか、市内の養殖業者の経営改善にどう繋がっていくのか。
- ・答 弁／これまでも市独自のかき筏修繕支援として1台あたり14万円や、県の稚貝垂下連導入支援として1台あたり50万円、10年間の利子補給など、3つの緊急対策を講じてきた。今回の事業は、これらでカバーしきれなかった部分への追加支援である。生産回復の具体的な見込みとしては、事業者によって被害の影響率は異なるものの、補助金を活用した再投資を促すことで、従前の生産水準まで回復・経営改善できるよう支援していきたい。

●地域活性化イベント事業

- ・内 容／竹原市の夏の風物詩である「たけはら夏まつり花火大会」が物価高騰により開催困難となっているため、補助金を増額することにより開催を実現し、市内外からの来場者による地域活性化及び住民の地元愛の醸成を図る。
- ・質 疑／追加補正となる100万円の積算根拠は何か。本当にそれだけの費用が必要なのか、事業者の自主努力の余地も含めて精査されているのか。
- ・答 弁／申請時点では例年通りの予算で実施可能と見込んでいたが、その後の物価高騰等により追加支援が必要と判断した。今回の100万円は大会継続のための「上限額」としての位置づけであり、今後は主催である観光協会に対し、自主財源の確保や経費圧縮の努力を求めつつ、公費支出をできる限り抑える方向で、積算の内訳を厳密に精査・協議していきたい。